

# 『食と農・地域』を中心とした本校のESD推進の取組について

留寿都村立留寿都小学校 校長 鈴木 裕

ESD担当 金森 豪人

## 1. 本校のESDの特徴

本校のESDはテーマを、『国際交流』『自然・環境・福祉』『食と農・地域』とし、全校で取り組んでいる。これらは、1・2年生は生活科で、3年生以上では総合的な学習の時間(名称・ユネスコタイム)で学年ごとにテーマを決め、取り組んできている。

ついでには、本校で一番力を入れているテーマが『食と農・地域』である。JAようてい青年部の協力を得て、種まき・苗植えから世話、収穫までを行っている。さらに、JA婦人部の協力で調理を行い、留寿都の大地の恵みを味わうことができた。また、その取り組みを発展させ、作物の良さを広めようと道の駅でPR活動をしたり、地産地消について考えたり、6年生は、留寿都村をさらによりよくするための方策を村長へ直接提言するなどの活動を行っている。

さらに、ユネスコスクールに指定されている福岡県大牟田市立玉川小学校と、学年の取組や収穫物などのやりとり(◎留:ジャガイモ⇄玉:みかん)等の交流を行っている。

## 2. 活動全体計画 ※次頁表を参照

## 3. 活動事例

1年生・きなこづくり



2年生・サツマイモ調理



3年・でんぷんづくり



4年生・道の駅大根PR



5年生・ベト・ポックスの外



6年生・ビートから砂糖づくり



留小縁日  
(地域への発表会)



## 4. 成果と課題

- 栽培→調理の取組を発展させ、地域のために何ができるか、どう生かすかを考える意識が育ちつつある。
- 地域の協力を仰ぎつつも、今後は児童自身のできることを少しずつ増やし、主体的な取組にする必要がある。

# 留寿都小学校の総合（名称：ユネスコタイム）・単元とテーマ一覧（平成28年度）

分野	E S D 学校課題				合計
	国際理解	環境・自然・福祉	食と農・地域	学校課題	
3 年	<b>留学生との交流</b> (5) <b>～どんな人かな？どんな国かな？たくさん知ろう～</b> ・会う前に留学生の出身地について調べる。 ・留学生のことをたくさん知る積極的に話しかけてみる。	<b>～留寿都と大牟田の違いは？～</b> ・採れる農作物の違いから、環境・気候などの違いについても考える。 ☆大牟田玉川小との交流を通して ※J A ようてい、村役場との連携 (15)	<b>～めざせ！ジャガイモ博士～</b> ・ジャガイモの栽培、農家の人からの聞き取りを通して、じゃがいものことをくわしく知る。 ・品種による味等の違いを調べ、料理のメニューや作り方に生かす。 <b>～留寿都の野菜を知ろう～</b> ・留寿都村の野菜マップを作って、留寿都村の特産品に関心を持ち、留寿都の農業について知ろうとする。 ☆九州との交流への足がかりにする。 (50)		70
4 年	・一緒にできることを考え、学習したり、遊んだりする。 ・留学生について、その出身地についてなど交流したことをもとに、分かったことをまとめる。	<b>めざせ！みんないきいき留寿都村Ⅰ</b> <b>～知りたいな！留寿都村のこと～</b> ・誰もが住みよい村について考え、留寿都村はどんな工夫をしているのか調べる。(人に関わる学習を中心に) ※国語科『だれもがかかわりあえるように』との関連 ※留寿都高校、村役場との連携 (20)	<b>ルスツ自慢！ルスツ大根</b> <b>～ルスツ大根の秘密を探ろう～</b> ・留寿都村が生産量全道一の大根について調べよう。 ・ルスツ大根の生産量が全道一の理由や苦労、おいしさの秘密などをまとめ、発信しよう。 ・大根を加工してみよう。 ☆玉川小との交流 ※食育学習との関連 (45)		70
5 年		<b>めざせ！みんないきいき留寿都村Ⅱ</b> <b>～もっと留寿都を好きになろう！～</b> 住みよい町づくりのために村はどんなことを考えているのか調べる。(施設に関わる学習を中心に)町作りに関わりたいな。できることはないだろうか。議会を見学してみよう。 ※村役場との連携 (25)	<b>わたしたちの留寿都じまん</b> ・弁当交流（ベントーボックスプロジェクト）を通して、留寿都をPRする。 ・留寿都（北海道）の特産品を育て、お弁当づくりに活用する。 ☆玉川小外国との交流※食育学習との関連 (30)	<b>くろまつながい・るすつながい</b> 他町村のことを知り、留寿都と比べたり、つながりに気付いたりする。人・山・川・海がつながってるって、本当？！確かめて、つながりをまとめよう。 ※宿泊学習との関連 ※理科・社会科との関連 (10)	70
6 年		<b>明日に向かって</b> <b>～留寿都村の未来をイメージしよう～</b> これまでの学習をもとに、地域の一員として村の将来像をイメージし、学んだこと・考えたことなどを効果的に発表・提言する。また、これからの自分の生き方について考え、将来の夢を描く。 ☆4年間のまとめになるようにする。 (30)	<b>ビート調査隊</b> <b>～ビートって、どんな野菜？～</b> ビートを育てて、砂糖を作ろう。ビートを使って、他にも何か作れないかな？ ☆玉川小との交流 ※食育学習との関連 (25)	<b>函館を伝えよう</b> 歴史と文化の街「函館」と留寿都を比べて、違いやそれぞれのよさに気付く。 ※修学旅行との関連 (10)	70

※取組をファイリングして（ユネスコファイル）、学習したことの足跡が目に見えるようにまとめ、蓄積していく。

◎本校の総合的な学習の時間で身につけさせたい力

- 自ら進んで対象にかかわることができたか・・・・・・・・・・・・・・・・（かかわる力）
- 課題を見つけ工夫しながら最後まで粘り強く課題解決に取り組むことができたか・・（追究力）
- 情報を収集し、分析することができたか・・・・・・・・・・・・・・・・（資料活用力）
- 相手や目的に応じて、表現力豊かに伝え合うことができたか・・・・・・・・（伝え合う力）
- 自己の生き方を見つめ直すことができたか・・・・・・・・・・・・・・・・（実践力）